

外国語〈外国語〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
英語 1	a		11601	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
後藤 江里	選択	1	インターナショナルスクール幼稚園教諭・保育士			

授業の到達目標

将来、保育士を目指す学生に必要とされる語彙と知識を学習する。保育の現場で役立つ表現と語彙に取り組みながら、読む、書く、話す、聞く、の4技能の実用能力の向上も図る。このクラスではKAISEIパーソナリティのIn（国際性）を養う。

授業の概要

テキストに沿って、様々なシーンを 回1ユニットづつ授業を進める。毎回キーワードの小テストを実施し、確実に語彙を増やしていく。

授業計画

- 1 Pre-unit Please Speak More Slowly
- 2 UNIT 1 Hi, I'm Yuri Tanaka
- 3 UNIT 2 Where Is the Multi-purpose Room ?
- 4 UNIT 3 Good Morning. How Are You Today ?
- 5 UNIT 4 What Color Do You Like ?
- 6 UNIT 5 There's a Ladybug on the Leaf
- 7 UNIT 6 It's Time to Play Outside
- 8 UNIT 7 She Is Allergic to Eggs
- 9 UNIT 8 You Should Go to the Bathroom
- 10 UNIT 9 We Made Masks Today
- 11 UNIT 10 If It Rains, What Happens ?
- 12 UNIT 11 What Shall We Do Today ?
- 13 UNIT 12 I Feel Feverish
- 14 UNIT 13 This Is Yuri from Cosmos Day Care Center
- 15 UNIT 14 Thank You Very Much for Everything & 試験

授業の方法

テキストに沿って毎回1ユニットづつ進めていく。

準備学修

必ず指定された個所を予習、復習してくること。

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

平常点の中には授業時の模擬レッスン形式の発表なども含まれます。

欠席について

欠席は原則として認めない。欠席の場合は原点の対象とする。

テキスト

Happy English for Childcare 土屋麻衣子著 金星堂

留意事項

必要に応じて、授業中に指示を行う。

外国語〈外国語〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
英語 1	b		11601	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
釜須 久夫	選択	1				

授業の到達目標

将来、保育士を目指す学生に必要とされる語彙と知識を学習する。保育の現場で役立つ表現と語彙に取り組みながら、読む、書く、話す、聞く、の4技能の実用能力の向上も図る。このクラスではKAISEIパーソナリティのIn（国際性）を養う。

授業の概要

テキストに沿って、様々なシーンを 回1ユニットづつ授業を進める。毎回キーワードの小テストを実施し、確実に語彙を増やしていく。

授業計画

- 1 Pre-unit Please Speak More Slowly
- 2 UNIT 1 Hi, I'm Yuri Tanaka
- 3 UNIT 2 Where Is the Multi-purpose Room ?
- 4 UNIT 3 Good Morning. How Are You Today ?
- 5 UNIT 4 What Color Do You Like ?
- 6 UNIT 5 There's a Ladybug on the Leaf
- 7 UNIT 6 It's Time to Play Outside
- 8 UNIT 7 She Is Allergic to Eggs
- 9 UNIT 8 You Should Go to the Bathroom
- 10 UNIT 9 We Made Masks Today
- 11 UNIT 10 If It Rains, What Happens ?
- 12 UNIT 11 What Shall We Do Today ?
- 13 UNIT 12 I Feel Feverish
- 14 UNIT 13 This Is Yuri from Cosmos Day Care Center
- 15 UNIT 14 Thank You Very Much for Everything & 試験

授業の方法

テキストに沿って毎回1ユニットづつ進めていく。

準備学修

必ず指定された個所を予習、復習してくること。

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席は原則として認めない。欠席の場合は原点の対象とする。

テキスト

Happy English for Childcare 土屋麻衣子著 金星堂

留意事項

必要に応じて、授業中に指示を行う。

教員連絡先

kamasu@kaisei.ac.jp

基幹科目〈観光〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
観光文化地理論			13838	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
釜須 久夫	必修	2	旅行会社勤務			

授業の到達目標

海外旅行地理の基礎と海外の国々の観光・歴史・宗教・文化に関する知識を学び、このクラスではKAISEIパーソナリティのA（自律）とIn（国際性）を養う。

授業の概要

海外の国々を、アジア、ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア、中東、アフリカ等に分けて、世界の国、都市、地域、島、観光ポイントなどの必修知識を学習する。また同時に地図、写真、動画などのビジュアル資料から現地情報を学習する。

授業計画

- 1 「アジア」韓国・台湾・中国
- 2 「アジア」香港・マカオ・モンゴル・フィリピン
- 3 「アジア」ベトナム・ミャンマー・カンボジア・タイ
- 4 「アジア」マレーシア・シンガポール・インドネシア・インド・ネパール
- 5 「アジア」スリランカ・モルディブ・パキスタンアフガニスタン・カザフスタン・ウズベキスタン・その他の国々
- 6 「ヨーロッパ」英国・アイルランド・ベルギー・オランダ
- 7 「ヨーロッパ」アイスランド・ノルウェー・スウェーデン・フィンランド・デンマーク・ドイツ
- 8 「ヨーロッパ」スイス・オーストリア・リヒテンシュタイン・フランス・モナコ
- 9 「ヨーロッパ」イタリア・バチカン市国・マルタ・スペイン・ポルトガル・ギリシャ
- 10 「ヨーロッパ」ポーランド・チェコ・ハンガリー・ブルガリア・ルーマニア・ロシア・その他の国々
- 11 「南北アメリカ」米国・カナダ
- 12 「南北アメリカ」メキシコ・キューバ・ペルー・ブラジル・アルゼンチン・その他の国々
- 13 「オセアニア」オーストラリア・ニュージーランド・グアム・フィジー・その他の国々
- 14 「中東・アフリカ」トルコ・イスラエル・アラブ首長国連邦・エジプト・南アフリカ・その他の国々
- 15 「総括」と試験

授業の方法

学習内容とリンクして、問題集や地図・写真・動画などのビジュアル資料を通して現地情報を学習する。

準備学修

事前に指示された個所を予習、復習してくること。

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席は原則として認めない。欠席の場合は原点の対象とする。

テキスト

『海外旅行実務 海外観光資源』JTB総合研究所
『海外観光地理 サブノート』JTB総合研究所

留意事項

必要に応じて、授業中に指示を行う。

教員連絡先

kamasu@kaisei.ac.jp

基幹科目〈観光〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
ハワイ文化研究			13965	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
釜須 久夫	選択	2	旅行会社勤務			

授業の到達目標

ハワイの文化を研究する上で、文化を育んだハワイの歴史とその背景を学び、文化が伝わるプロセスと様々なハワイ特有の文化を学び理解をより深める。またハワイの精神である「アロハスピリット」を学ぶ。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）とIn（国際性）を養う。

授業の概要

授業のテーマに関連した講義の他に、ビジュアルやビデオなどを用いてハワイ文化を視覚的に学習する。また小テストや問題集などを取り入れて、ポイントとなる箇所を復習する。

授業計画

- 1 ハワイの歴史(1) ポリネシア文化圏とハワイ諸島の誕生
- 2 ハワイの歴史(2) ハワイの信仰と神話
- 3 ハワイの歴史(3) ハワイ王国の歴史
- 4 ハワイの歴史(4) ハワイのフラの歴史 古典フラと現代フラ
- 5 ハワイの歴史(5) 日本人移民の歴史
- 6 ハワイの歴史(6) 戦時下の日系人
- 7 ハワイの歴史(7) 戦後のハワイと観光王国ハワイ
- 8 ハワイの言語(1) ハワイ語の基礎知識
- 9 ハワイの言語(2) ハワイ語の会話
- 10 ハワイの言語(3) ハワイアンソングに使われる単語
- 11 ハワイの文化(1) ハワイの食文化と暮らしの習慣
- 12 ハワイの文化(2) ハワイの伝統工芸
- 13 ハワイの文化(3) ハワイのミュージックとフェスティバル
- 14 ハワイの文化(4) ハワイの伝統文化継承と自然保護
- 15 総括 & 試験

授業の方法

講義とビジュアルプレゼンテーションや小テストを中心とする。

準備学修

事前に指示されたテーマについて、予習、復習してくること。

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席は原則として認めない。欠席の場合は原点の対象とする。

テキスト

なし

留意事項

必要に応じて、授業中に指示を行う。

教員連絡先

kamasu@kaisei.ac.jp

展開科目〈観光〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
宿泊事業論			13835	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
一尾 敏正	選択	2	宿泊業実務/企業経営			

授業の到達目標

観光立国を目指した国家戦略は訪日外客誘致を増加させた。その結果、宿泊業界に多大な影響を与えた。宿泊業はホテル、旅館の枠を超え民泊という新たなジャンルに発展している。本講座は旅館、ホテルの歴史や経営・運営に関して学修する。グローバル時代における宿泊産業の基礎を理解し、宿泊マネジメント基礎的知識やグローバル化する宿泊産業の収益構造や組織運営を理解する。このクラスは、KAISEIパーソナリティのIn（国際性）とE（倫理）を養う。

授業の概要

宿の歴史から始まる本講座は、日本の宿泊と欧米におけるホテル業の歴史を学ぶ。次に、産業としてのホテル業に焦点を当て現代ホテル産業の組織及び運営・経営方式などを理解する。理解を助ける補助教材として日本ホテル協会監修の研修資料を参考に理解を深める。宿泊産業の基礎講座である。

授業計画

- 1 ガイダンス
- 2 ホテル産業史Ⅰ
- 3 ホテル産業史Ⅱ
- 4 ホテル産業史Ⅲ
- 5 宿泊産業の市場特性
- 6 ホテルの組織と役割
- 7 客室事業・基本業務
- 8 客室事業・組織とサービス
- 9 客室事業・価格戦略
- 10 料飲事業
- 11 バンケット事業
- 12 プライダル事業
- 13 ケータリング事業
- 14 購買とFBCC
- 15 まとめ

授業の方法

テキストとパワーポイントを使い講義をする。受講生はノートを取ること。また、ディスカッション等のグループワークも取り入れる。

準備学修

図書館で購読されている「ホテルレストラン」「月刊ホテル旅館」を読むこと。事前にテキストを読むこと。

課題・評価方法、その他

課題30%、総括試験70%

欠席について

大学の規定通りとする。

テキスト

鈴木博、大庭祺 郎（2007）『基本ホテル経営教本』柴田書店

参考図書

適宜紹介
オータパブリケーション『ホテルレストラン』
柴田書店『ホテル旅館』

留意事項

観光における中心的な産業は、宿泊業である。ツーリズムを学ぶ上で必要不可欠である。合わせて、観光マーケティング論を履修すること。事前にテキストを予習すること。

教員連絡先

ichio@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

展開科目〈観光〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
WEBトラベルプレゼンテーション			13839	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
釜須 久夫	選択	2	旅行会社勤務			

授業の到達目標

国内外のトラベルやサービス業関連のWEBページの分析を通して、WEBプレゼンテーションの役割とポイントを学習し、基本条件や専門知識を習得する。また実習では理想的なWEBプレゼンテーションと役に立つプレゼンテーションのテクニックを養う。このクラスではKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）を養う。

授業の概要

WEBプレゼンテーションに必要な基本条件と専門知識を学び、実習でテーマに基いた企画書、日程表、パンフレットなどの作成作業や発表等のプレゼンテーションを通して、効果的な作成方法や発表のテクニックを学ぶ。

授業計画

- 1 WEBトラベル・プレゼンテーション概要（テーマの説明と内容の紹介）
- 2 トラベルやサービス業関連のWEBページの分析
- 3 WEBプレゼンテーションの基本条件（テーマ・イメージ・キーワード）
- 4 WEBプレゼンテーションの基本条件（ページレイアウトとデザイン制作フロー）
- 5 プレゼン資料の作成方法と発表のポイント
- 6 WEBプレゼンテーション実習（1）
- 7 WEBプレゼンテーション実習（2）
- 8 WEBプレゼンテーション実習（3）
- 9 WEBプレゼンテーション実習（4）
- 10 WEBプレゼンテーション実習（5）
- 11 WEBプレゼンテーション実習（6）
- 12 WEBプレゼンテーション実習（7）
- 13 WEBプレゼンテーション実習（8）
- 14 WEBプレゼンテーション実習の（9）
- 15 総括&試験

授業の方法

講義と小テスト、プレゼンテーションの資料作成と発表等の実習を中心とする。

準備学修

事前に指示された個所を予習、復習してくること。

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

欠席について

欠席は原則として認めない。欠席の場合は原点の対象とする。

テキスト

なし

留意事項

必要に応じて、授業中に指示を行う。

教員連絡先

kamasu@kaisei.ac.jp